

第91回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2018年12月1日(土) 晴れ

青空の下、カツラ林駐車場で開会式。安全注意、体操が行なわれ、今回は初めての参加者が多く(6名)、また山頂直下の豪華トイレが使用不可とのことで、キャンプ場ともみじ台のトイレを使用する旨の連絡を受け、4班に分かれて出発。

ミヤマフユイチゴの小さな赤い実は甘酸っぱく美味しかった。キャンプ場では、イギリスのオレンジ色の実がブドウの房のように遠くからでも見分けられた。この時季、花で見分けることは難しく、少しの葉や小さな実からだけで草木を言い当てるのは至難の業のはずだが、次から次へと目につくもの殆どを説明して頂ける。

逆沢作業道(=郵便道)では、アオカラムシ、タマアジサイ、エイザンスミレ、ヤマドリソウ、フタバアオイ、チドリノキ、リョウメンシダ、コクサギ、アブラチャン、クジャクシダ、カラムシ、セキヤノアキチヨウジ、エビガライチゴ等を観察。もみじ台までの登りは長くかなりきついが、ツルカノコソウ、ヨゴレネコノメ、フタリシズカ、ウリノキ、キッコウハグマ、ノササゲ、タイアザミ等を見ながら息を整える。



甘酸っぱい赤い実(ミヤマフユイチゴ)

もみじ台で昼食をとり、富士道で見失いそうな小さな丸い緑色の実がひとつ、イガホオズキだ。ルーペでのぞくとしっかりイガイガが見えた。その他にクロモジ、ムラサキシキブ、ミヤマシキミ、マルバウツギ、カンアオイ等も。浄心門を越えてもうすぐ十一丁目茶屋という所で、キジョランに出会った。果実がはじけ、今まさに鬼女の白髪のような白いふわふわの毛が生えた種が風にのって飛んでいこうとしていた。何もないと思っていたこの季節、よく見ると草木たちは春に向けてすでにしっかり準備をしていた。

拾い集めたごみは、燃えるゴミが20リットル2袋、ペットボトルが1袋、瓶・缶が少量でした。

今月の見どころ：ミヤマフユイチゴ実、アマチャヅル実、イガホオズキ実、ムラサキシキブ実、キジョラン種
観察した植物(本文中記載以外)：シロヨメナ花、イヌショウマ実、ヤブラン実、マツカゼソウ花実、クサギ実、ナギナタコウジュ、ハナワラビ胞子葉、レモンエゴマ実、ベニバナポロギク花、フサザクラ冬芽、イヌコウジュ、キツネノマゴ、ダイコンソウ花、ミヤマタニタデ、ツルカノコソウ、オオバギボウシ種、ヒイラギ花、リンドウ蕾、ダンコウバイ冬芽、ジャノヒゲ実、タチツボスミレ花、センボンヤリ種、キツリフネソウ花、キンミズヒキ種

開催場所：日影沢コース〔日影沢入口～キャンプ場～逆沢作業道～もみじ台～高尾山頂〕

参加者：38名(一般24名、FIT会員14名)

スタッフ：入江克昌(代表)、稲葉 力、臼井治子、野坂俊樹〔写真〕、廣川妙子、福田正男、槇田幹夫〔補足〕

報告者：鈴木 幸代

* 次回の「第92回高尾山GREEN CLEAN作戦」は2019年1月5日(土) 稲荷山コースです。
高尾山口駅 9時30分集合、稲荷山コース、5号路、もみじ台、高尾山です。





開会式：今月の見どころ説明



日影沢林道で観察



もみじ台での集合写真その1



もみじ台での集合写真その2



鬼女の白髪 (キジョラン)



緑色のイガイガの実 (イガホオズキ)



季節にあった紅葉 (イロハモミジ)



季節を先取りした花 (タチツボスミレ)